



関西福祉大学円形広場

校友会報

Contents

- ② 職場からのメッセージ
- ④ 大学時代の思い出 8期生
- ⑤ 校友会ニュース
- ⑥ 校友ネットワーク
- ⑧ キャンパスニュース
- ⑩ 平成20年度 校友会役員紹介
- ⑪ 校友会会則
- ⑫ インフォメーション



仕事場からのメッセージ

それぞれの分野で活躍する卒業生…

「仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたのか」
「これまでを振り返り、ご投稿いただきました。」

いろいろな方と関わり、
いろいろな想いに触れ、
日々刺激を受けています。

私は地域包括支援センターの社会福祉士として「介護予防ケアマネジメント」「包括的・継続的ケアマネジメント」「権利擁護」「総合相談」を軸に高齢者の支援を行っています。

地域包括支援センターは、「主任ケアマネジャー」「保健師・看護師」「社会福祉士」が配置されています。それぞれに専門分野を持っていますが、互いに連携をとりながらチームとして総合的に

高齢者を支援していきます。また、地域の方や関係機関（警察・病院等）の方とも連携をとりながら、高齢者が住み慣れた地域で過ごしていけるよう支援しています。

支援していくなかで心がけていることは、高齢者が抱えている問題を「扱う」のではなく「向き合う」ということと、いかに高齢者自身の力を引き出すか、精神的な安定を図るかなど、いろいろな視点から



の人のらしく歩んでいくのかを一緒に悩み考えながら支援していきたいと考えています。今こうして私の仕事につ

支援を考えていくということです。

高齢者本人やその家族、民生委員や関係機関、ケースに関わるいろんな方の立場を考えながら、みんなにとって最善の方法で対応していきたいと思っています。私の場合、1日24時間の約1/3は仕事です。とても大きな割合です。充実したものにしたいと考えたとき、とにかく何事も誠実に一生懸命に取り組むことが大事ではないかと考えました。人間の相手の仕事なのでそうするのは当然のことだし、私自身もやりがいを感じられるのではないかと思うのです。

私はこの仕事に就いて、人生の先輩である高齢者を大事にしていきたいと思うようになりました。支援を通して、いろんな方の「人生」「生き様」を知ることができ、これは貴重なことだと思っています。これまでもがどのような人生であっても、それが正しかったのか間違っていたのかなんて、誰にも判断できません。（私は今までの人生を含め今後の人生も大事にしたいと思っています。）いかにその



毛利 寿子さん
2004年度卒業

姫路市西保健福祉サービスセンター
(地域包括支援センター)
社会福祉士

いて振り返りてみる、と、我ながら心動かされること、多い充実した1/3なのではないかと思うのです。いろいろな方と関わり、いろんな想いに触れ、日々刺激を受けています。仕事上、悩んだり心配したり心痛めたりすること、がほとんどですが、うれしい知らせを聞くと心から喜びを感じる事ができます。

私にとつての仕事とは、「人生をより豊かにするための肥やし」でもあります。お蔭様で、日々の支援をしていく中で、上質な肥やしが蓄積されています。

この肥やしが地域のみなさまの元氣や安心につながるよう、これからもがんばっていききたいと思っています。

「今後一人ひとりに、
本当の意味での幸せの自己実現をしていただくため、
少しでも手助け出来るよう努めて参りたいと思っています。」

私は関西福祉大学卒業後、地元の兵庫県姫路市にあります「社会福祉法人ささゆり会 特別養護老人ホームサンライフ御立」に就職し、現在は併設している「デイサービスセンター サンライフ御立」にて相談員として働かせて頂いています。

私の職場はトム・クルーズ主演の映画「ラストサムライ」の撮影場所である書写山の近くに位置し、毎年、関西福祉大学から卒業生が就職し、後輩が増えています。

デイサービスでの仕事は、相談業務、現場の管理や他の専門職との連携や調整、通所介護計画書の作成が主な業務となっています。

また、現在は今年7月オープン予定の「デイサービスセンター サンライフ田寺」の開業にあたりプロジェクトチームを作り、ご利用者様が、自由に自由な時間を自分のニーズに合わせて一日の生活を送るための新たなデイサービスの創設

を目指して会議を重ね準備を進めております。

デイサービスは在宅サービスであり、ご利用者様は毎日自分の家へ帰られます。ご家族様もご本人様もできる限り住み慣れた地域で、住み慣れた家で生活を続けたいと思っておられます。そのためには、今ある力を維持・向上させていくよう支援をしていくと共に、それ以上にご利用者様のできることを新たに発見し、サービスに繋げていき、「自信」や「尊厳の回復」「向上心」を高めていく使命があると感じております。そしてグループ毎のサービス提供や個別支援を高めるチーム作り・サービス提供体制を確保していく必要があります。

私は、ご利用者様が、そのご家族様が、今のデイサービスを何を求めているのだろうかと考えることがよくあります。私達もそうですが、ご家族様・ご利用者様一人ひとりが違って当たり前のものだと思います。

ある人は交流の場かもしれない、またある人は身体機能の回復の場かもしれない。幸せや願いは一人ひとり違うのです。

今後一人ひとりに、本当の意味での幸せの自己実現をしていただくため、少しでも手助けできるように努めて参りたいと思っています。

最後に次の福祉を担う後輩の皆様へ一言。どの福祉サービスに対しても言えることですが、ご利用者様がそのサービスを受け、幸せになるのも、不幸せになるのもサービスの担い手に大きくかかっています。ご利用者様を良く見て、良く聴き、良



植田 智さん
2001年度卒業

社会福祉法人ささゆり会
デイサービスセンター サンライフ御立
相談員

く知って下さい。そして良く想い考えサービスに繋げ、ご利用者様の幸せの自己実現に少しでも近づけるよう支援のできる職員を目指して下さい。私達の職場に興味のある方は、「サンライフ御立」や「サンライフ田寺」に見学やボランティアに来て下さいね。

※「私と仕事」は、今号より「仕事場からのメッセージ」にタイトルを変更しました。

お知らせ

平成20年3月9日に開催された、平成19年度 第3回理事会・幹事会において以下のことが決定しました。

<個別校友会活動助成の一部変更について>

部・サークルのOB会やPSWの集まりなど、在学中につながるのあった者同士の交流である個別校友会の活動助成について、活動の活性化を目的とし、助成内容を一部変更しました。助成については次の①②に対して行います。

- ① 懇親及び交流会(同期会、部・サークルOB会、ゼミ・クラス会など)は一律10,000円までを助成します。ただし正会員5名以上の参加が必要となります。
- ② 研究会、講演会、コンサート等は上限30,000円までを助成します。ただし、正会員10名以上の参加が必要となります。

<校友会支部の設置準備について>

校友会支部の設置準備についての申し合わせ事項が決まりました。支部設置準備には3名以上の発起人による発起人会があたり、理事会での承認を得て支部設置にとりかかることになります。現在、東海支部、兵庫支部の設置準備が進行中です。

個別校友会活動助成、校友会支部の設置についてのお問い合わせ

校友会事務局
☎0791-46-2847 FAX.0791-46-2615
✉ koyukai@kusw.ac.jp

平成19年度 校友会総会が 開催されました

平成19年10月28日(日)、校友会館2階校友会館ホールにおいて、平成19年度校友会総会が開催され、次の議題が審議、承認されました。

- ① 平成18年度事業報告
- ② 平成18年度収支決算報告
- ③ 平成18年度収支決算監査報告
- ④ 平成19年度事業計画
- ⑤ 平成19年度収支予算
- ⑥ 新役員紹介及び役員改選結果報告



第4回 ホームカミングデー開催

汐風祭に重ねて開催しているホームカミングデーも今回で4回目をむかえ、平成19年10月27日(土)、28(日)の2日間で約150名の卒業生が母校を訪れました。

恒例となった写真撮影や関福饅頭の配布、喫茶タイムのドリンクサービス、模擬店金券の配布を行いました。

参加した卒業生の皆さんの記念写真を掲示したメッセージボードには「結婚しました」「子どもが産まれました」「仕事をがんばっています」といった近況報告や「校舎が増えていてびっくりしました」といった感想が寄せられ、校友会館内の喫茶タイムは、再会した旧友と学生時代の思い出を語り合う卒業生で、活気にあふれていました。



大学時代の思い出 Memories 8期生

仲間とともに つくり上げた大学祭



岸田 直人さん
2007年度卒業
有限会社スパムスタッフ
サイタブリア

四年間……。単に時間的な長さだけでみると長く感じるかもしれませんが、関西福祉大学での四年間は短距離走のように一気に駆け抜けてきた印象があります。そして特にその中でも、大学祭実行委員会(春の汐風祭・秋の汐風祭)の企画、準備、運営を行う機関での出来事が強く記憶に残っています。

一年次の時には、とても安易な気持ちで実行委員会に所属することにしたのですが、先輩や友人達と長期間にわたる準備をすることに楽しさを見出し、大学祭が終わるころには、大学祭が終わってしまうことに寂しさを感じるようになっていました。

二年次には、実行委員長として大学祭を迎えることになりました。実行委員の先頭に立ち、一から大学祭の方針を決めていくことに重圧を感じることもありましたが、信頼できる仲間にも支えられていたので、今までにない私達らしい企画に挑戦できる良い機会だととらえることができました。この時ほど仲間の存在を明確に感じ、助けてもらったことはありません。そして、大学祭の準備が進むにつれて実行委員同士の団結力は更に強固なものとなり、その団結力は大学全体に飛び火し、実行委員だけでなく在学生全員を大学祭に巻き込み、私一人では到底達成できない程の規模と成果になりました。

本学で得ることのできた仲間や人脈、経験は貴重な財産です。それを得るきっかけとなった大学祭実行委員会は私にとって大きな転機となりました。今後は卒業生として、私を向上させてもらった大学や大学祭の更なる発展を願っております。

激動の四年間を 過ごして



今津 智博さん
2007年度卒業
赤穂市役所
一般行政職

入学当初は、大学には勉強のために通い、ひっそりと四年間を過ごしたいなど思っていました。この四年間を振り返ると常に何かの行事があり激動の大学生活を送っていたなと少し感じています。

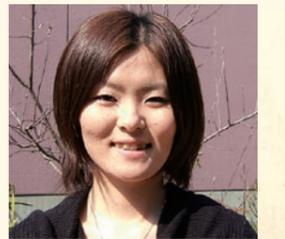
入学した翌日から、部活動で体を動かしたいという軽い気持ちで見学に行った合気道部で先輩に会ったことが、激動の四年間の始まりであり、私の人生のターニングポイントになったと思います。

合気道部に入部後、先輩に誘われ、メンタルフレンドひまわりのボランティア活動にも参加するようになり、さらに何も分からないまま課外活動委員会にも参加することになりました。

最初は先輩に流されるまま入ったひまわりや課外活動委員会でしたが、やるからにはしっかりとやり遂げたいという思いから、ひまわりでは四年間ボランティア活動を継続して行ってきました。また、課外活動委員会では、私たちの代が中心として活動を始めると同時に新しい企画を立ち上げ、近隣の四大学と合同で行った姫友戦の開催時期には夜遅くまで会議があり、大会成功のため団結して進め、無事乗り切ることができました。

合気道部では、三回生時に主将を務め、合気道部の活動を赤穂だけに止めず、姫路や山口県への遠征を積極的に行うことで、技量を高め、誰にも負けない心を鍛えることができました。多くの先輩方や後輩たち、そして何より同期の仲間たちの支えによって、四年間の大学生活で自分に自信を持って最後までやり遂げることができました。これらの経験をもとに社会人になっても、突き進んで参りたいと思います。

音楽活動を通して 学んだこと



重近 真由美さん
2007年度卒業
兵庫県社会福祉事業団

大学4年間を通して大切な友達や多くの先輩、後輩に出会い、またいつも親身に相談に乗っていただいた先生方のお世話になり、充実した毎日を送ることができました。

そして音楽という活動があったからこそ、潤いのある大学生活になったと思います。吹奏楽部での活動、2回生のときに古瀬先生のゼミで行った音楽療法など大変貴重な経験となりました。

私はこの音楽活動を通じて、人が音楽から受ける影響、人から人が受ける影響など「影響力」ということを実感しました。

吹奏楽部の活動の一つである施設への訪問演奏が大好きで、毎回来しみにしていました。ふと利用者の方を見ると笑顔で演奏を聴いてくれる方や、時には涙を流している方もいらっしゃいました。たった数十分の演奏でこんなにも影響を与えることがあるのだと、利用者の方々の変化を身近に感じ、音楽をやっていたよかったと胸が熱くなりました。

また何か嫌なことがあったときでも、明るい人を見ると元気になるれたり、つらそうな人を見ると一緒に落ち込んでしまったりと、人から受ける影響は意外と大きいものであると感じました。

今まで携わってくれた多くの方々に変え感謝しています。さまざまな考えを持つ人に出会えたことで自分自身が成長でき、また仲間にも助けられたことで、人の大切さを実感しました。社会人になり辛いことがあったときも、発想の転換により常に前向きに物事に取り組み、成長していきたいと思えます。

校 友 ネット ワ ー ク



桂 純子さん
2002年度卒業
財団法人高輝度光科学研究センター
総務部人事課

皆さんこんにちは。
私は現在、世界最高の放射光施設を持つ、Spring-8（スプリング8）に勤めています。職員の出張旅費、赴任旅費の算出、採用関係の業務を行っています。

研究者が働く世界とは一体どのようなものだろう。専門の知識があるわけではないので、ちゃんと勤められるだろうかと最初は不安でした。実際に入社してみると、直接研究者と関わる仕事ではありませんでしたが、研究者を支える秘書の方や担当者との連絡を取り合ったり、総務事務に勤める職員の方と打ち合わせをしたり、忙しい日々ですが、毎日充実しています。

研究者との接点は全くなのかと言えはそうではなく、会社にはサークルのようなものがあり、私はバドミントンにちよくちよく顔を出して、こういった交流の機会を通して研究者の知り合いも増えました。

福祉の大学に進みながら一般企業に就職し、最初は畑違いだろうかと不安に思いました。でも働く中で、相手の立場に立つ、人とコミュニケーションを取り合いながら仕事を進めていく等、大学で学んだことはどこでも活かせるのだと実感しました。

まだまだ知らない事ばかりのこの世界をもっと知り、より充実した毎日を送りたいと思っています。



弥重 卓志さん
2002年度卒業
有限会社 ウィズ
サービスセンターゆう
管理者・生活相談員
東中浜サービスセンター

みなさんは10年後の自分を想像することができらるだろうか。私は10年先の自分の姿を全く想像できない。ただこうなりたいと思う自分は漠然とだが、自分の頭の中にはある。

大学を卒業して5年が経った。この間、仕事が順調な友人、仕事を辞めた友人、結婚して子どもができた友人、転職を考えている友人、絵かきをしている友人、仕事を辞め学校で学び再び、就職する友人、たった5年間だがみんなそれぞれ違う人生を歩んでいる。

違う人生の中で勝ち組、負け組など、どうやって決まるのだろうか。
仕事が順調で社会のレールにのっかっている人間は勝ち組で、仕事を辞めた人間は負け組なのだろうか。年収の多い少ないで決まるのだろうか。

私は人生の成功者とは、己を生きている人間だと思ふ。一般社会の基準に左右されることなく、主体的に人生を生きているこそが勝ち組だと思ふ。

私は10年先、しっかりと自分のものさしを持って生きていきたいと考えている。たった1度の人生である。社会に生かされるのではなく、主体的に人生を謳歌するため日々精進していきたいと思ふ。

みなさんもみなさん自身のものさしを持って生きていってほしいと切に願う。



津田 智弘さん
2005年度卒業
ワタキューセイモア株式会社
近畿支店神戸営業所
営業部

ワタキューの津田でございます。

入社して2年が経ったところで、まだまだ勉強することばかりで、毎日奔走しております。

入社後、営業部に配属になり、仕事の内容は契約先の病院、施設等々への営業活動を主にしております。シート1枚持つて走ることや、ベッドや家具、消耗品等の促進を行ったりと、新規開拓から契約先へのアフターメンテナンスまで全ての窓口となるため、業務としては多いですが、1日1日がとても早く、充実した日々を送っています。医療福祉業界は、現在非常に厳しい時代を迎えています。その中でもいかにお客様である病院、施設様へのマッチングした提案ができるか、そして、お客様との関係を築き、求めているものを聞き出せるかを考え、仕事に励んでおります。また、今年で3年目となり、会社からも、お客様からも求められる事が増えるので、今後は業界の法制度等も学んでいこうと思っております。日々適当ですが、なんとかがんばっております。

営業所が神戸ということもあり、休日には地元へ帰ってバカ騒ぎをしたり、息抜きをしています。若さを失わない程度にこれからはがんばっていきたくと思います。

皆様、楽しいことがありましたら気軽にお声掛けください。



門脇 由佳さん
2002年度卒業
AIU保険会社
ビジネスセンター
アジャスター
松江損害サービス

私は現在、損害保険会社でアジャスターとして働いています。具体的な仕事の内容は、事故の受付から調査、保険金の支払という、事故が起こってから解決するまでの一連の業務です。お客様に満足いただけるサービスの提供と、公正な保険金支払を迅速に行うことが求められる仕事です。

仕事を始めたころ、保険の知識など全く無かった私は、覚える事も多く知識を得るという事に受け身でいました。しかし仕事を続けていく中で、より良いサービスの提供のために私自身が多くを学び得る必要性を感じ、講習受講など積極的に行うようになり、学ぶことにより仕事の奥深さを感じるようになりました。様々な事故対応をしながら、落ち込むことも、前向きな気持ちになれないときもあります。それでもこの仕事を続けていきたいと思えるのは、お客様や被害者の方などから頂く「ありがとう」の一言、仕事を通じ出会った多くの方々、友達の支えのおかげです。

感謝の気持ちを忘れず、この仕事を通じアジャスターとしても人としても成長していきたいと思っております。

追伸 先日、大学時代の友達と小旅行に出掛けてきました。たくさん話し、笑い、楽しい時間を過ごしました。元気になった分、また仕事も頑張ろうという気持ちになりました。元気をくれる友達にとても感謝しています。



徳留 和美さん
2005年度卒業
兵庫信用金庫 網干支店
一般職

私が兵庫信用金庫に入庫して3年目になります。現在、窓口業務を経て、後方事務として企業への振込、通帳紛失、名義変更等の諸届、相続処理等を担当しています。入庫時は覚えなければならぬことがあまりに多く、金融業界について専門的な知識のない私に勤まるのか不安もありました。しかし、いつも私の背中を押してくれる先輩方に支えられ、今では責任のある仕事を任せていただけるようになりました。このような私が、日々心掛けている私のモットーは、常に楽しんで仕事をすること、そしてどうすればお客様に喜んでいただけるかを考えることです。どんなに難しい処理を受け付けても、お客様が帰る時には笑顔で帰っていただけるよう努力しています。今では、「今日は窓口にいるの?」とか、「来週からまた忙しくなるけど頑張ってください」とか、「お客様の方から声を掛けていただけるといいな」とか、お客様の声から声を掛けていただけるといいなと思ふようになりました。

私の休日とはというと、お仕事と同様、思いっきり楽しんでます。私は、幸せなことに職場の先輩に可愛がっていただき、休日も先輩に遊んでもらうことがよくあります。また同期や地元の方と遊びに行くなどして、息抜きはしっかりしています。先日は友達と若さを武器に日帰りで福岡まで行ってきました。

まだまだ覚えなければならないことはたくさんありますが、様々な業務に挑戦させてくれる今の職場でステップアップしていきたいと思ふます。



森尾 唯公子さん
2003年度卒業
医療法人河崎会
就労継続支援 (B型) 事業所
はばたき
社会復帰部

医療法人河崎会に入職してはや5年目を迎えました。私は現在社会復帰部に所属し、地域で生活しておられる精神障害者や知的障害者の方の就労支援や様々な生活に関する相談の他、障害程度区分の認定調査員などを主な業務として行っています。学生時代に思い浮かべていた「4年後の自分」には遠く及ばず、「今、私がしなければならないこと、求められていることができるのか」と選べばせながら悩む余裕は出てきたようなのですが…

長期で入院し、「一人暮らしなんてムリや〜!」と泣きながら、それでも前を向いて一人暮らしを始めた方。毎日会うたびにニコニコ笑って楽しいことばかり口にしておられた方が、突然、自ら命を絶ててしまったあとに残された部屋の様子。「やっぱり病院でおった方が寂しくないから、一人暮らししよええわ」と暮らしていた家を引越して、ほっとした表情で入院した方。陰性症状がひどく無為自閉の毎日を送っておられた方が、生活の中で見せるようになったいきいきした表情…。そのときの自分自身の感情と共に、焼きついていきます。

今、福祉の現場は、様々な問題をはらみながら施行された自立支援法の下で揺れています。前述したようなことが起こる現場で、法律の枠組み内では必要な支援を行うことが難しい部分も確かに出てきています。そのような中で、「目の前の利用者の方にとって本当に必要なものは何なのかを考える」という本来の使命にたかえり、利用者の方に「一歩ずつ学び、歩んでいく」とができるかと思っております。

喫茶ライム

校友会館開設と同時に、厚生棟食堂横にあったライムが校友会館1階へ移転し、リニューアルオープンしてから1年がたちました。

開学時より知的障害者に作業の場を提供という呼びかけから、知的障害者の親の会である「赤穂市手をつなぐ育成会」が運営し、現在障害のある5名のスタッフと支援員2名が働いています。

営業時間は平日(土・日・祝除く)9時から15時30分まで。10月の大学祭と同時に開催されるホームカミングデーでは交流の場として利用させていただきました。リニューアル後は、新たに軽食メニューが加わ



人気のオムライスセット 500yen

り、カレーライスセット、オムソパセットなどのセットメニューが500円と格安で、特に月替わり定食(4月は豚のしょうが焼きセット)とオムライスセットが人気となっています。

学生、教職員といった学内からだけでなく、学外からの利用もできるということで、近隣の住民の方も利用されています。

赤穂に立ち寄られたときなど、どうぞ卒業生の皆様もご利用ください。



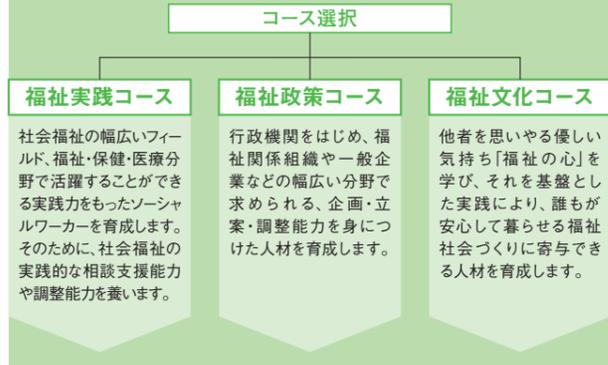
社会福祉学部が平成20年度より、2専攻3コースになりました。

子ども福祉専攻

子どもの育ちと子育てを支え、ソーシャルワークの知識・技術を保育に展開し、保育や子育て支援の場においてリーダー的役割を果たすとともに、子どもが大切にされる社会を創造することのできる人材を育成します。

社会福祉専攻

ソーシャルワーカーの育成をベースに、3つのコースで専門性を高め、あらゆる分野で活躍することができる人材を育成します。



めざす資格・免許

- 子ども福祉専攻**
 - 保育士/幼稚園教諭一種免許
 - 社会福祉士(国家試験受験資格)
 - ▲各種任用資格
 - ▲精神保健福祉相談員以外の任用資格が取得できます。
- 社会福祉専攻**
 - 社会福祉士(国家試験受験資格)
 - 精神保健福祉士(国家試験受験資格)
 - 認定心理士
 - 高等学校教諭一種免許「福祉・公民」
 - 中学校教諭一種免許「社会」
 - ▲各種任用資格
- 社会福祉専攻**
 - 社会福祉士(国家試験受験資格)
 - 精神保健福祉士(国家試験受験資格)
 - 認定心理士
 - 高等学校教諭一種免許「福祉・公民」
 - 中学校教諭一種免許「社会」
 - ▲各種任用資格
- 社会福祉専攻**
 - 社会福祉士(国家試験受験資格)
 - 高等学校教諭一種免許「福祉・公民」
 - 中学校教諭一種免許「社会」
 - ▲各種任用資格

●基本取得資格・免許
 ●取得可能な資格・免許
 ▲任用資格……社会福祉主事・児童福祉司・児童指導員・精神保健福祉相談員・家庭相談員
 任用資格とは、公務員に採用された後、特定の業務に従事する際に必要となる資格です。所定の単位を修得することにより取得が可能です。ただし、児童福祉司任用資格は、卒業後指定施設での業務経験(1年間)が必要ですが、社会福祉士国家試験もしくは精神保健福祉士国家試験に合格している場合は業務経験は不要です。

優しい気持ち「福祉の心」で、人々の想いに応え、支援することができる人材の育成をめざして、社会福祉学部が平成20年度より、2専攻3コースで再スタートを切りました。

21世紀は、すべての人が幸せになることを共に願い、求める時代です。人間の尊厳が保持され、高齢者や障害者や子どもたちが、等しく人間として発達の可能性を保障され、全ての人が自由な意思決定により、自己実現を可能にする福祉社会を創っていく必要があります。その実現のために社会福祉学部では、平成20年度より2専攻3コースに改編し、人のいのちの尊厳を大切に、「福祉の心」を基盤とし、幅広い学習を、実際に福祉現場で活かすことのできる創造力、実践力を兼ね備えた人材の育成をめざします。

キャンパス素描

柿本和久さん

2003年秋、廊下で三村先生から「今年も私のゼミで焼き芋をやりませんか頼みますね」と依頼があった。まず荒涼とした西の広場(現在の講義棟新館学生ホール、円形風除室付近)に真砂土を盛り上げて水をかけ、さらに土をかけてスコップの裏で力一杯叩く。それを繰り返して固めた後、竪穴を掘り手前に焚口を作る。竪穴上部に鋼管で傘を作り、外周にトタン板を巻く。荒縄で網目を作り天辺に20リ缶を被せる。半練りの土で外周を塗り天辺に丸太で籐型廂を付ける。形が段々

整って来ると人目を引く。西の広場に忽然と出現した「福祉原人の竪穴式住居」なんとも奇妙な取り合わせだ。それに気付いて凝視する人。笑顔で見に来る人。十人十色の反応にさらされる。

苦闘の末、やっと当日の朝を迎える。三村ゼミの学生達と保健室の正木先生。それに自由参加の教職員と学生達。多数の注目を一身に受けて三村先生が点火式。一気に燃え上がった炎は驚きの喚声に勢いづいて廂の丸太が焼け落ちる。

学生達がさつまいも、じゃがいも、バナナと鶏の足まで火の中へ投げ込む。待つ事しばし、喧騒の中で学生達に混じって私も大きな芋を頬張る。上空に雲が出て来たが、心と芋の温かさにみんなが本当に輝いていた、あの日あの時。



「ベンチアートあこう」 2007年9月30日
私の作品「元禄風 竹ベンチ」

柿本さんには、開学より技能力としてお世話になりました。4月をもって退職されたため、本学での思い出を投稿していただきました。

第12回 平成20年度 入学式

平成20年4月5日(土)、赤穂市文化会館(ハーモニーホール)において、関西福祉大学第12回入学式が挙行されました。第12期社会福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻、子ども福祉専攻、編入生、看護学部看護学科の入学学生合計346名が、入学を許可されました。



入学生を代表して社会福祉学部の川島加容子さんが大学生活への抱負と決意を述べました。

第8回 平成19年度 卒業式

平成20年3月23日(日)、赤穂市文化会館(ハーモニーホール)において、関西福祉大学第8回卒業式が挙行されました。卒業を認められた社会福祉学部社会福祉学科の270名が、卒業証書と学位記を授与されました。卒業生を代表して赤松まささんは、「大学生活4年間で多くのことを体験しました。大学の講義や汐風祭、ボランティア活動等での色々な人との交流を通じ、学生同士、諸先生方、地域の皆様とのつながりを広げていきました。これは私達の大きな財産です。」と感謝の言葉を述べました。



校友会役員紹介

※期生、五十音順
(平成20年4月現在)

平成20年度の役員は、次の通りとなりました。

新役員



理事 (八期生) 亀井陽介



幹事 (八期生) 山口晃司



幹事 (八期生) 西海彩

会長 荒木美智雄

副会長 藤田正樹

副会長 古瀬徳雄

理事 森川加壽美

理事 宮地勇

理事 長野みどり

理事 松本崇

理事 本田明典

理事 木村泰延

理事 藤井宏昭

理事 前島一恵

理事 頓宮佑一

理事 亀井陽介

理事 松村悠子

理事 今岡典和

幹事 河村梢

幹事 澤田友樹

幹事 高屋吉宏

幹事 徳田篤

幹事 福井弥生

幹事 松葉史子

幹事 安田美穂

幹事 梅田秀喜

幹事 元佐朋亨

幹事 中塚和貴

幹事 丸島知洋

幹事 森本智香子

幹事 青木雅哉

幹事 岡田憲明

幹事 門脇由佳

幹事 庄司康生

幹事 中岡愛弓

幹事 宮本靖子

幹事 森脇俊一

幹事 平井理絵

幹事 増井奈美子

幹事 角佛里英

幹事 林田哲弥

幹事 森下篤志

幹事 中島祥雅

幹事 春名麻弓

幹事 西海彩

幹事 山口晃司

幹事 溝端剛

幹事 岩間文雄

幹事 田中福恵

幹事 小比賀恵一

幹事 山口博文

幹事 星野光也

幹事 辻本琴江

幹事 大山摩希子

校友会事務局 山口博文

事務局長 星野光也
会計課長 前田亜希
事務職員 前田亜希

関西福祉大学校友会則

第一章 総則

第一条 本会は、関西福祉大学校友会と称する。

第二条 本会の事務所を、赤穂市新田三八〇二関西福祉大学内におく。

第三条 本会は会員相互の親睦・扶助を図り、教養の向上に努めることと、母校の発展を援助し、社会に寄与することを目的とする。

第四条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(一) 会報及び会員名簿の発行
(二) 会員の懇親及び交流
(三) 講演会、研究会等の開催
(四) 母校の発展に寄与する事業
(五) 種々の社会奉仕の事業
(六) その他の必要事業

第二章 会員

第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。
(一) 正会員 本学を卒業した者
(二) 准会員 本学の在學生
(三) 特別会員 本学の現旧専任教職員
ただし、旧専任教職員は会費十二万円を全納した者に限る。

第六条 本会の名譽をけがした者または本会の目的に反する行為を行なった者は、理事会の決定により除名されることがある。

第三章 役員

第七条 本会に次の役員を置く。
(一) 本役員
(二) 副会長 一名
(三) 理事 十五名以内
(四) 幹事 各卒業年次毎に六名以内及び会長の指名した者六名
(五) 顧問 若干名
(六) 会計監事 二名
(七) 支部役員
(八) 支部長 各支部一名

第八条 役員は次による。
(一) 会長は理事の互選による。
(二) 副会長は、理事の中から会長が委嘱する。
(三) 理事は幹事の中から選出された者とする。

第九条 役員は各卒業年次毎に会員中より互選された者及び会長の指名した者とする。
(一) 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
(二) 会計監事は理事会において理事、幹事及び支部長以外の者から選出する。
(三) 支部長は、各支部会員の中から互選する。

第十条 役員は各卒業年次毎に会員中より互選された者及び会長の指名した者とする。
(一) 会長はこの会を代表して会務を総括し、総会、理事会、幹事会及び支部長会議を召集する。
(二) 副会長は会長を補佐し、会長について支障あるときは、その職務を代行する。
(三) 理事 理事は理事会を組織し、第十三条第六項に定める事項を行う。
(四) 幹事 幹事は幹事会を組織し、第十四条第四項に定める事項を行う。
(五) 顧問 顧問は会長の諮問に応じ、助言を行うことができる。
(六) 会計監事 会計監事は本会の会計及び収支決算を監査する。

第十一条 役員は三年とし、再任を妨げない。
第十二条 役員に欠員が生じたときは、これを補充することができる。
第十三条 役員は、前任者の残任期間とする。その責任を免れるものではない。

第四章 会議

第十四条 本会に次の会議を置く。
(一) 総会
(二) 理事会
(三) 幹事会

第十五条 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めたときは、幹事会の議決のあったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。
第十六条 総会の召集は、議案、期日、場所等について会員に通知を先ずることによる。
第十七条 総会の議長は当日出席の会員中からこれを選ぶ。
第十八条 総会は次の事項について審議し、議決は出席会員の過半数による。可決同数のときは議長がこれを決する。
(一) 会報及び事業計画の承認
(二) 会計監事報告の承認
(三) 決算及び予算の承認
(四) 会則改定の議決
(五) その他理事会において必要と認められた事項
第十九条 総会は、原則として理事会及び幹事会において審議した事項を議題とする。ただし、緊急動議については、出席会員の過半数が承認した場合のみ議題とすることができる。

第五章 事務局

第二十条 校友会事務局は関西福祉大学内に置く。
第二十一条 事務局に、事務職員を置くことができる。
第二十二条 事務局運営の細則は、会長が別に定める。

第六章 会計

第二十三条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつてこれに当てる。
第二十四条 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、毎年三万円を納入する。
第二十五条 特別会員の会費は総額十二万円とし、在職中毎年度会費一万円を納入する。ただし、会費総額(十二万円)に達する前に退職した者については、第五条により賛助会員として継続することができる。
第二十六条 賛助会員(第五条第四項I)の会費は、入会時に一万円を納入する。
第二十七条 その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。
第二十八条 すでに納入した会費は、返付しない。
第二十九条 (会計年度) 会計監査
第三十条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。
第三十一条 本会の収支決算及び財産は、会計監査を経て総会に報告し、承認を得なければならぬ。

第七章 支部

第三十二条 (支部)の設置、支部長
第三十三条 理事会の議決を経て都道府県単位に支部をおくことができる。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。
第三十四条 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもって構成員とする。
第三十五条 支部には支部長一名をおく。支部長は、支部会員の互選等により本部役員の中から選出する。任期は二年とする。
第三十六条 支部長は支部を班級別、班長をおくことができる。
第三十七条 (本部との連携)
第三十八条 支部長は支部長名、支部役員名、事務所の所在等を本部に報告しなければならない。
第三十九条 支部長は本部の方針に協力し、支部会員の親睦をはかり、その活動状況を本部に報告しなければならない。
第四十条 支部長は幹事会に出席し、求めに応じて意見を述べることができる。
第四十一条 (支部長会議)
第四十二条 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。
第四十三条 (経費)
第四十四条 支部経費は各支部においてまかなう。本部は支部活動費の補助を行うことができる。本部は支部活動を奨励することができる。

第八章 附則

第四十五条 (個別校友会への助成)
第四十六条 本会は、認定した個別校友会の活動費を助成することができる。

附則

第四十七条 この会則は、総会の議決を経なければ改廃することができる。
第四十八条 この会則は平成十三年四月一日より施行する。
第四十九条 本会設立時から当分の間の会長は、第八条の規定にかかわらず関西福祉大学の学長とする。
第五十条 本会設立時から当分の間の幹事及び理事は、第八条の規定にかかわらず関西福祉大学校友会の会長が指名した者とする。
第五十一条 この改正後の会則は平成十五年七月二十八日から適用する。
第五十二条 この改正後の会則は平成十六年十月二十四日から適用する。
第五十三条 この改正後の会則は平成十八年十月二十八日から適用する。

平成20年度 人事異動		平成19年10月1日～平成20年4月30日		
	日付	所属	職名	氏名
採用	H20.4.1付	社会福祉学部	准教授	川田 素子
			准教授	谷口 泰司
			准教授	前田 美智代
			助教	佐藤 哲郎
		看護学部	教授	小海 節美
			准教授	蔡 小瑛
			助教	山元 恵子
			助教	長谷 起世子
			助手	片山 知美
			助手	橋本 裕
			助手	松村 裕子
			教授	渡邊 美千代
退職	H20.3.31付	社会福祉学部	教授	流王 治郎
			講師	井上 浩
		看護学部	教授	三宅 寿美
			教授	山崎 雅代
			教授	山崎 雅代
			教授	渡邊 美千代

平成20年度 年間スケジュール		
4月	5日(土)	入学式
5月	17日(土)	創立記念日
6月	15日(日)	オープンキャンパス
6月	下旬	校友会 第1回 理事会・幹事会
7月	19日(土)	オープンキャンパス
8月	23日(土)～24日(日)	オープンキャンパス
9月	13日(土)	オープンキャンパス
10月	25日(土)～26日(日)	汐風祭・ホームカミングデー・オープンキャンパス
10月	下旬	校友会 第2回 理事会・幹事会
10月	下旬	校友会 総会
12月	14日(日)	赤穂義士祭
3月	中旬	校友会 第3回 理事会・幹事会
3月	23日(月)	卒業式

原稿募集

- 校友会員の各種集い、部・サークルのOB会、ゼミ同窓会などの様子をお知らせください。
- 会員の皆様それぞれの仕事の内容や仕事上の悩み・喜びなど、1000字程度の原稿をお寄せください。
- 校友インタビュー・校友ネットワークに登場していただける校友を募っています。自薦、他薦を問いません。事務局までご連絡ください。
- 記事の雰囲気伝える写真、筆者の近影などがあれば添付してください。写真は発行後返却します。
- 原稿及び写真の採否は事務局に一任ください。
- 原稿の加筆、修正、削除などをお願いする場合があります。
- 校友会会報企画・編集に興味のある方は事務局までご連絡ください。
- その他、校友会へのご意見などもお寄せください。

(事務局)

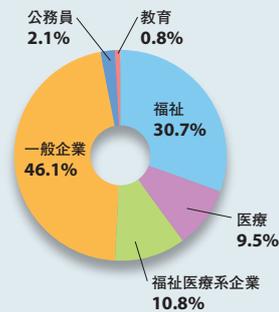
平成19年度 就職状況報告

第8期生の就職希望者に対する就職確定率は98.8%と、8期連続して100%に近い就職率を達成しました。これは学生自らが高い目標意識を持ち、大学での学びを通してしっかりと社会性を養い、自信をもって取り組んだ成果です。また卒業生の様々な分野での活躍は、後輩たちの就職活動への大きな力となっています。

平成19年度卒業生(第8期生)就職状況
【就職状況】 (平成20年3月31日現在)

区分	男性	女性	合計	%
A. 卒業生数	127名	143名	270名	—
B. 就職希望者数	110名	134名	244名	90.4%
C. 就職者数	109名	132名	241名	98.8% (C/B) 89.3% (C/A)

【業種別就職状況】



【卒業生 就職状況】 (毎期3月31日)

	就職希望者数	就職者数	就職率	卒業生数
第1期生	232名	228名	98.3%	276名
第2期生	194名	191名	98.5%	232名
第3期生	234名	230名	98.3%	275名
第4期生	202名	199名	98.5%	231名
第5期生	211名	208名	98.6%	241名
第6期生	245名	242名	98.8%	272名
第7期生	239名	236名	98.7%	269名
第8期生	244名	241名	98.8%	270名

関西福祉大学

KANSAI UNIVERSITY of SOCIAL WELFARE

校友会報 第11号

- 発行日 平成20年5月20日
- 発行所 関西福祉大学 校友会

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
TEL 0791-46-2525 (大学代表)
TEL 0791-46-2847 (校友会事務局)
FAX 0791-46-2615
✉ koyukai@kusw.ac.jp

大学HP : <http://www.kusw.ac.jp/>
校友会HP : <http://www.kusw.ac.jp/koyukai/index/index.html>